



## 高校野球のマナーとルールを学ぼう (第70回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。  
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えします。

### マナー編 投球の際の捕手の捕球について

プレイがもう無い場面でも捕手が後ろに逸らした投球を取りに行っていました、意味があるのでしょうか…?



**一球を大事にして欲しいという願いが込められています。** ワイルドピッチ・パスボールなど、バッテリーエラーで進塁を許したり、失点したりすることはとても悔いが残りますよね。こういったプレイが試合の勝敗を左右することもあります。一球を大事にする、という気持ちで、走者がいないノーアウトやワンアウトの場合でも全力で投球を逸らさないように心がければ、こうした状況は防げるようになるのではないのでしょうか。

また、試合のリズムも良くなりますし、投手や他の野手との信頼関係の構築にもつながります。さらに、ボールも野球の道具の一つですから、道具を丁寧に扱うということはあらゆるスポーツに共通することです。フェンスに当たることで傷つく可能性もありますので、そういった観点からも気をつければよいでしょう。

### ルール編 ボークを誘う声だし

「内、外!」や「真っ直ぐ!」という球種を教える声はなくなってきました。皆さんが投手と打者の1対1の勝負ということをよく理解されてきていることと思います。

では投手と走者の勝負についてはどうでしょうか? 「Go, Go!」や「逃げた!」などと大声で叫び、投手にプレッシャーを与える行為をたまに見かけます。実際にはスタートを切っていないのに、あたかも盗塁行為があるかのように声を出すのはボークを誘発する行為になります。ルールでも野球規則6.04競技中のプレーヤーの禁止事項(a)(3)では、『ボールインプレイのときに“タイム”と叫ぶか、他の言葉または動作で明らかに投手にボークを行わせようと企てること。』は、禁止事項として定められています。

フェアプレーに関する事項は過去に何度も取り上げていますが、今回もぜひ覚えておいてほしい事項です。

